

RACING PROGRAM 出走馬一覧表



The 69th
Grand Prix
有馬記念^{GI}
2024.12.22



有馬記念(GI)(第69回グランプリ)

発走15時40分 2500m(芝・右)Aコース使用

このカラー版出馬表の内容は12月20日12時00分現在のものです。その後に出走取消、騎手変更等が生じる場合がありますのでご注意ください。

Main table containing horse names, jockeys, past performance, and race details for the Arima Kinen (GI) race.

※ブレレーティングは、原則としてGI・JpnI競走は6着まで、その他の重賞・オープン競走は4着までのレーティング値が対象となります。レーティングの詳細につきましては本誌中面に掲載しております。

70th
ANNIVERSARY



HERO IS COMING.

有馬記念

12.22 SUN 中山競馬場 15:40発走



馬券は20歳になってから、ほどよく楽しむ大人の遊び。
競馬場・ウインズへは電車・バスで。馬券は正規の窓口で。

有馬記念への道

Run for The Glory

今年の競馬シーンをにぎわせたヒーローたちが覇を競う有馬記念。
ここまでのGI戦線を振り返ってみよう。



第44回 ジャパンカップ(GI)

東京競馬場 2400m(芝・左) 晴・良 14頭

1番人気の日本馬ドウデュースが
直線で鋭い末脚を繰り出して優勝。

着順	馬名	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ドウデュース	武 豊	友道 康夫	2:25.5	①	13 12 12 7
2	シンエンペラー	坂井 瑠星	矢作 芳人	クビ	⑧	1 1 2 2
2	ドゥレットツァ	W.ビュイック	尾関 知人	同着	⑦	6 3 1 1
4	チェルヴィニア	C.ルメール	木村 哲也	2 1/2	②	3 3 6 4
5	ジャスティンパレス	C.デムーロ	杉山 晴紀	アタマ	③	7 7 7 7



第49回 エリザベス女王杯(GI)

京都競馬場 2200m(芝・右・外) 曇・良 17頭



着順	馬名	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	スタンヨローズ	C.デムーロ	高野 友和	2:11.1	③	4 4 4 2
2	ラヴェル	川田 将雅	矢作 芳人	2	⑫	8 8 8 9
3	ホールネス	坂井 瑠星	藤原 英昭	3/4	②	5 5 5 5
4	シンリョクカ	木幡 初也	竹内 正洋	クビ	⑥	2 2 3 2
5	レガレイラ	C.ルメール	木村 哲也	ハナ	①	8 8 10 9



第170回 天皇賞(秋)(GI)

東京競馬場 2000m(芝・左) 曇・良 15頭



着順	馬名	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ドウデュース	武 豊	友道 康夫	1:57.3	②	14 14 13
2	タスティエーラ	松山 弘平	堀 宣行	1 1/4	⑨	3 3 5
3	ホウオウビスケッツ	岩田 望来	奥村 武	1/2	⑧	1 1 1
4	ジャスティンパレス	坂井 瑠星	杉山 晴紀	クビ	⑥	12 11 11
5	マテンロウスカイ	横山 典弘	松永 幹夫	クビ	⑫	5 6 5



第85回 菊花賞(GI)

京都競馬場 3000m(芝・右・外) 晴・良 18頭



着順	馬名	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	アーバンシック	C.ルメール	武井 亮	3:04.1	②	8 8 5 3
2	ヘデントール	戸崎 圭太	木村 哲也	2 1/2	④	17 16 8 5
3	アドマイヤテラ	武 豊	友道 康夫	ハナ	⑦	15 12 2 1
4	ショウナンラプンタ	鮫島 克駿	高野 友和	クビ	⑥	10 10 10 4
5	ビザンチンドリーム	A.シュタルケ	坂口 智康	クビ	⑨	12 15 14 10



第65回 宝塚記念(GI)

京都競馬場 2200m(芝・右・外) 曇・重 13頭



着順	馬名	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ブローザホーン	菅原 明良	吉岡 辰弥	2:12.0	③	11 11 10 7
2	ソールオリエン	横山 武史	手塚 貴久	2	⑦	7 7 12 11
3	ベラジオオペラ	横山 和生	上村 洋行	クビ	⑤	3 4 3 2
4	プラダリア	池添 謙一	池添 学	クビ	⑥	3 2 2 1
5	ローシャムパーク	戸崎 圭太	田中 博康	3	④	9 9 3 4



東京優駿(GI) (第91回日本ダービー)

東京競馬場 2400m(芝・左) 晴・良 17頭



着順	馬名	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ダノンデサイル	横山 典弘	安田 翔伍	2:24.3	⑨	4 3 6 4
2	ジャスティンミラノ	戸崎 圭太	友道 康夫	2	①	2 3 2 4
3	シンエンペラー	坂井 瑠星	矢作 芳人	1 1/4	⑦	8 7 9 9
4	サンライズアース	池添 謙一	石坂 公一	1 1/4	⑮	17 17 2 2
5	レガレイラ	C.ルメール	木村 哲也	ハナ	②	10 11 14 13

秋の主役ドウデュースなど魅力的な強豪集う

春の芝中長距離戦線はレースごとに新星が台頭。大阪杯はベラジオオペラがローシャムパークと激しい競り合いの末、クビ差でGI馬の仲間入りを果たした。2着のローシャムパークは、秋にはブリーダーズカップターフでもクビ差2着となっている。

天皇賞(春)でテオーロイヤルの2着となったブローザホーンは、続く宝塚記念でGI初制覇を達成。同一年の宝塚記念&有馬記念制覇が叶えば、クロノジェネシス以来4年ぶり12頭目となる。また天皇賞(春)3着の古豪ディープポンドは、3年前の有馬記念で2着。今年も参戦すれば4年連続有馬記念出走となる。

古豪といえば日本ダービー馬シャフリヤールも6歳だが、今年もドバイシーマクラシック2着、ブリーダーズカップターフ3着と世界を相手に健闘。昨年5着の雪辱なるか。同じくプログノースも香港のクイーンエリザベスII世C2着、豪州のコックスプレート2着など世界で善戦を重ねてきた1頭となる。

3歳クラシックは3頭が三冠を分け合った。皐月賞馬ジャスティンミラノは怪我ですすでに引退。日本ダービー馬ダノンデサイルがもし有馬記念を勝てば、オルフェヴル以来13年ぶり5頭目となる3歳の日本ダービー馬による勝利。アーバンシックならばサトノダイアモンド以来8年ぶり9頭目の3歳の菊花賞馬による勝利となる。

エリザベス女王杯は、スタンingローズが2年前の秋華賞以来となる復活勝利。春に牡馬クラシックで善戦してきた3歳のレガレイラは1番人気で5着と敗れた。

そして秋の主役といえばドウデュース。春はドバイターフ5着、宝塚記念6着と歯車が噛み合わなかったが、天皇賞(秋)を圧巻の末脚で制すると、続くジャパンカップも見事な差し切り勝ちを収めた。天皇賞(秋)4着で期待されたジャスティンパレスは5着。昨年の有馬記念2着のスターズオンアースは7着となった。

有馬記念がラストランのドウデュースは、シンボリクリスエス以来21年ぶり5頭目の連覇で有終の美を飾れるか。天皇賞(秋)、ジャパンカップとの3連勝が実現すれば、テイエムオペラオー、ゼンノロブロイに次ぐ史上3頭目の偉業となる。

※12月10日までの状況をもとに構成

(競馬ライター・軍土門隼夫)

主な重賞競走結果一覧

日付	レース名	格	競馬場	距離	優勝馬名	騎手名	人気
3.31	大阪杯	GI	阪神	芝2000	ベラジオオペラ	横山 和生	②
4.14	皐月賞	GI	中山	芝2000	ジャスティンミラノ	戸崎 圭太	②
4.28	天皇賞(春)	GI	京都	芝3200	テオーロイヤル	菱田 裕二	①
5.19	オーフス	GI	東京	芝2400	チェルヴィニア	C.ルメール	②
5.26	日本ダービー	GI	東京	芝2400	ダノンデサイル	横山 典弘	⑨
6.23	宝塚記念	GI	京都	芝2200	ブローザホーン	菅原 明良	③
6.30	ラジオNIKKEI賞	GIII	福島	芝1800	オフトレイル	田辺 裕信	⑥
7. 7	七夕賞	GIII	福島	芝2000	レッドラディエンス	戸崎 圭太	②
7.14	函館記念	GIII	函館	芝2000	ホウオウビスケッツ	岩田 康誠	③
7.21	中京記念	GIII	小倉	芝1800	アルナシーム	横山 典弘	⑤
7.28	北海道新聞杯クイーンS	GIII	札幌	芝1800	コガネノソラ	丹内 祐次	⑤
8.11	小倉記念	GIII	中京	芝2000	リフレミング	川田 将雅	①
8.18	札幌記念	GII	札幌	芝2000	ノースブリッジ	岩田 康誠	⑤
9. 1	新潟記念	GIII	新潟	芝2000	シンリョウカ	木幡 初也	⑧
9. 7	紫苑S	GII	中山	芝2000	クリスマスパレード	石川裕紀人	⑤
9.15	関西テレビ放送賞ローズS	GII	中京	芝2000	クイーンズウォーク	川田 将雅	②
9.16	朝日杯セントライト記念	GII	中山	芝2200	アーバンシック	C.ルメール	②
9.22	産経賞オールカマー	GII	中山	芝2200	レーベンステール	C.ルメール	①
9.22	神戸新聞杯	GII	中京	芝2200	メイショウタバル	浜中 俊	②
10. 6	毎日王冠	GII	東京	芝1800	シックスパンス	C.ルメール	①
10. 6	京都大賞典	GII	京都	芝2400	シュヴァリエローズ	北村 友一	⑧
10.13	秋華賞	GI	京都	芝2000	チェルヴィニア	C.ルメール	①
10.14	アイルランドT府中牝馬S	GII	東京	芝1800	ブレイディヴェーブ	C.ルメール	②
10.20	菊花賞	GI	京都	芝3000	アーバンシック	C.ルメール	②
10.27	天皇賞(秋)	GI	東京	芝2000	ドウデュース	武 豊	②
11. 3	アルゼンチン共和国杯	GII	東京	芝2500	ハヤヤッコ	吉田 豊	⑩
11.10	エリザベス女王杯	GI	京都	芝2200	スタンingローズ	C.デムーロ	③
11.10	福島記念	GIII	福島	芝2000	アラタ	大野 拓弥	⑦
11.24	ジャパンカップ	GI	東京	芝2400	ドウデュース	武 豊	①
11.30	スポーツニッポン賞ステイヤーズC	GII	中山	芝3600	シュヴァリエローズ	北村 友一	②
11.30	チャレンジC	GIII	京都	芝2000	ラヴェル	川田 将雅	③

※2024年1月6日から6月23日までに行われた芝1800m以上のGIレースおよび6月24日から11月30日までに行われた3歳、3歳以上路線における芝1800m以上の重賞を掲載した。

●YouTube・JRA公式チャンネルでレース動画が見られます



ハナムケくんの 優雅な週末

作画 ウマハナ厩舎

第69回 有馬記念

の巻

ドウデュース

部屋を片付けていたら、小学校の卒業アルバムが出てきた

1 アルバムの後半に『なんでもランキング』という投票企画があり…

- お笑いセンス ベスト3
- 給食大食い ベスト3
- オシャレな人 ベスト3
- ノーベル賞候補 ベスト3
- 声優になれる ベスト3
- 妹にしたい ベスト3

2 えーと オレは…ん!?

3 自販機で悩んでそう ベスト3

1位 山田くん
2位 小野さん
3位 ハナムケ

何コレ? しかも3位で!!
順位もビミョー!

4 チッ、小学生め…勝手なこと書きやがって

ハハハ、笑わせるぜ～

ぜんぜん悩まねーし

えーと…

悩んでるし…

5 まあ確かにオレは優柔不断だ

馬券もギリギリまで…悩む!!

えーと うーん

6 有馬記念のファン投票となると、これまたたいへん 悩ましい!!

10頭なんてムリ!

100頭くらい推したいじゃああー

ファンが選ぶ「オールスタードリームレース」有馬記念!

武豊

ドウデュース

2023年 優勝

そのコンセプトは当時、日本中央競馬会理事長だった有馬頼寧が…

プロ野球の「オールスターゲーム」をモデルに発案したもの

Yoriyasu Arima 1884-1957

有馬氏はプロ野球の球団オーナー経験があり、野球殿堂入りもしている

※ファン投票は1～10頭まで

ファン投票を起点に考えると

ファン投票1位の馬が出走し → 1番人気となり → 1着!

横山武史

ボクのパターン

'21年 エフフォーリア

9

という、ワン「トリプル1」が最もハッピーエンドな有馬だ、という意見がある

スーパースターだらけ!!

1985	シンボリルドルフ
1994	ナリタブライアン
2000	テイエムオペラオー
2003	シンボリクリスエス
2004	ゼンノロブロイ
2006	ディーピンバクト
2013	オルフェヴル
2017	キタサンブラック
2020	クロノジェネシス
2021	エフフォーリア

グレード制導入以降の40年で10頭が達成!

シンボリルドルフ

一方、ファン投票、中～下位の馬が上位に食い込む下剋上も…

これぞファン投票のダイゴミ! 有馬を盛りあげろ!

よかた〜投票して♡

スターズオンアース

昨年 2着

ファン投票(13)位 → 単勝(7)番人気 → (2)着

11

「勝つ」となったらまたカクベツ!!

19 → 3 → 1 位 番人気 着

'18年 ブラストワンピース

うれしいけどカナシク

勝つとまでは思っておらず、馬券はしくじり!!

12

究極の下剋上は、やはり'91年

ダイユウサク!!

40 位

14 番人気

1 着

単勝 13,790円

13

有馬記念のファン投票にはファンの思いが詰まっている

アイツならきっとやってくれる!

みんなの思いを背に、今年も輝ける「ヒーロー」たちがエントリー

NAKAYAMA

今年もギリギリまで思う存分悩みます!!

卒アル 大的中やな〜

うーん うーん

昼メシも悩んだ

今年もお疲れウマでした! GOOD LUCK 有馬記念!!

JRA
70th Anniversary

名馬の肖像

有馬記念 メモリアルヒーロー

オルフェーヴル

Orfevre

輝きを夢見て

望むものすべてを手に入れた
たったひとつ、あの金貨を除けば
よし掴んだと思った刹那
指の間からすり抜けていった
冷たく光りながら遠ざかっていった

運命だったと痛みを鎮めてみる
いや出来ない、そんなのは無理だ
だからせめて大地に叩きつけよう
悔しさから生まれた怒りを
狂気が呼び覚ました情炎を

わが志を受け継ぐ者たちよ
この姿を超えられるか
ならば絶え間なく挑み続ける
その尊き歩みの果てにはきっと
輝きに満ちた瞬間が待つ



2008.5.14生 牡 栗毛
父:ステイゴールド
母:オリエンタルアート

通算成績:21戦12勝(うち海外4戦2勝)

主な勝ち鞍:2011 皐月賞(GI)

東京優駿(日本ダービー)(GI)

菊花賞(GI)

有馬記念(GI)

2012 宝塚記念(GI)

2013 有馬記念(GI)

オルフェーヴル

32,585票



2013年 有馬記念 (GI)

金色の怪物、圧巻のラストラン

まさに万感の思いをこめて、金色の怪物は中山の直線を疾走した。

デビュー戦では快勝直後に鞍上を振り落として放馬した。東日本大震災の影響により東京競馬場で実施された皐月賞、不良馬場の日本ダービーに続き、菊花賞も制して史上7頭目の三冠を達成したが、直後にまたしてもゴール後に止まらず騎手を振り落とした。その年は勢いそのままに有馬記念も制し、JRA賞年度代表馬に輝いた。

4歳初戦の阪神大賞典では3コーナーで外に膨れるロスからの2着。天皇賞(春)は1番人気で11着と惨敗するも宝塚記念は圧勝。渡仏し、フォワ賞を制して迎えた凱旋門賞では、勝利を目前にしながら内に切れ込んで失速し、ゴール寸前で地元の伏兵ソレミアに差されるまさかの結末。帰国後のジャパンカップも、ジェントイルドンナとの一騎打ちの末に競り負けてしまった。

5歳となった2013年は、産経大阪杯完勝から宝塚記念を目指すも、肺出血で直前に回避するアクシデント。再び渡仏し、フォワ賞の連覇から挑んだ凱旋門賞では、トレヴの豪脚の前に再び2着と敗れた。

そして迎えたのが、引退レースとなる有馬記念。約3年半にわたった波乱万丈の競走生活の最終章だった。

後方集団を追走していたオルフェーヴルが、勝負どころから上昇を始めた。他の馬たちの手が激しく動く中、ほとんど持ったままで外から上がっていく。あっという間に先頭に近づき、並びかけながら直線へ。独走劇の始まりだった。一瞬にして後続を置き去りにしてひた走るオルフェーヴル。最後はウインバリアシオンとゴールドシップの2着争いに8馬身もの差をつけてゴール。まさに大団円だった。

種牡馬入り後も、初年度のラッキーライラック、エポカドーロを皮切りにマルシュロレーヌ、ウシュバテソーロなどさまざまなジャンルの活躍馬を輩出。現役時代と変わらず、ファンに驚きと興奮を与え続けているオルフェーヴルは、2015年、顕彰馬に選出されている。

有馬記念 (GI) (第58回グランプリ)

2013年12月22日 中山競馬場 2500m(芝・右) 晴・良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	オルフェーヴル	牡5	57	池添 謙一	池江 泰寿	2:32.3	①	13 13 12 2
2	ウインバリアシオン	牡5	57	岩田 康誠	松永 昌博	8	④	9 11 12 4
3	ゴールドシップ	牡4	57	R.ムーア	須貝 尚介	1 1/2	②	12 11 8 4

有馬記念 (GI) (第56回グランプリ)

2011年12月25日 中山競馬場 2500m(芝・右) 晴・良 13頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	オルフェーヴル	牡3	55	池添 謙一	池江 泰寿	2:36.0	①	11 10 8 5
2	エイシンフラッシュ	牡4	57	C.ルメール	藤原 英昭	3/4	⑦	5 5 6 5
3	トゥザグローリー	牡4	57	福永 祐一	池江 泰寿	クビ	⑨	8 7 10 8

オルフェーヴル Orfevre

2008年5月14日生 牡 栗毛

父:ステイゴールド 母:オリエンタルアート 母の父:メジロマックイーン
 生産:白老・有限会社 社台コーポレーション白老ファーム
 馬主:有限会社 サンデーレーシング
 通算成績21戦12勝(うち海外4戦2勝)



主な勝ち鞍

- 2013年 有馬記念 (GI)、フォワ賞 (G2)、産経大阪杯 (GII)
- 2012年 宝塚記念 (GI)、フォワ賞 (G2)
- 2011年 有馬記念 (GI)、菊花賞 (GI)、日本ダービー (GI)、皐月賞 (GI)、神戸新聞杯 (GII)、スプリングS (GII)

2011年日本ダービー (GI)

メモリアルヒーローファン投票結果

2023年に行った70周年メモリアルヒーローファン投票、本競走の結果は以下の通りです。
1位: オルフェーヴル (32,585票)

2^位 **オグリキャップ** 29,351票



1990
優勝

1990年、近走不振で「終わった馬」との論調もあった同馬が見せた伝説のラストラン。翌日の新聞にはこんな文章が。「新聞記者は恥をかけた。でも、こんな恥ならなんどかいてもいい」。88年にも勝利。

3^位 **トウカイテイオー** 24,675票



1993
優勝

前年の有馬記念(11着)以降、骨折などの故障に見舞われていたトウカイテイオー。1年ぶりの出走となった1993年の本競走を半馬身差で制し、「奇跡の勝利」として大きな話題となった。

4^位 **ディーパインパクト** 19,839票



2006
優勝

2006年の優勝馬。「飛ぶ」と形容された走りで数々のタイトルを手中にしてきたディーパインパクトが、3馬身差の勝利で有終の美を飾る。この時の単勝支持率は70.1%と圧倒的。

5^位 **キタサンブラック** 17,726票



2017
優勝

引退レースとして出走した2017年の有馬記念を制したのが本馬。抜群のスタートから最後まで他馬の先行を許すことなく、後続を1馬身半差抑えての完封劇であった。



特設サイト



ファンが選んだ心に残る有馬記念投票結果

2023年にJRAホームページにおいて、歴代の有馬記念から年代ごとに心に残る好きなレースを選んでもらったファン投票を行いました。各年代の第1～5位は以下の通りです。

※スマートフォンなどでQRコードを読みとりますと、レース動画が再生できます (JRA公式YouTube)

1950-60年代 1965年 1位 シンザン 115,574票



2位 1969年スピードシンボリ (39,434票) 4位 1967年カブトシロー (3,658票)
3位 1956年メイヂヒカリ (7,678票) 5位 1960年スターロツチ (3,320票)

1990年代 1993年 1位 トウカイテイオー 60,490票



2位 1990年オグリキャップ (53,317票) 4位 1994年ナリタブライアン (22,045票)
3位 1999年グラスワンダー (22,550票) 5位 1991年ダイユウサク (10,330票)

1970年代 1977年 1位 テンポイント 90,311票



2位 1976年トウショウボーイ (47,578票) 4位 1970年スピードシンボリ (11,744票)
3位 1979年グリーングラス (21,942票) 5位 1971年トウメイ (4,055票)

2000年代 2006年 1位 ディープインパクト 94,458票



2位 2000年テイムオペラオー (26,891票) 4位 2008年ダイワスカレット (21,751票)
3位 2005年ハーツクライ (22,834票) 5位 2003年シンボリクリスエス (9,544票)

1980年代 1988年 1位 オグリキャップ 99,462票



2位 1985年シンボリルドルフ (50,993票) 4位 1989年イナリワン (13,404票)
3位 1984年シンボリルドルフ (16,725票) 5位 1987年メジロデュレン (3,065票)

2010-20年代 2013年 1位 オルフェーヴル 48,569票



2位 2017年キタサンブラック (40,436票) 4位 2019年リスグラシュー (15,499票)
3位 2022年イクイノックス (38,917票) 5位 2021年エフフォーリア (14,209票)

Mémoires 第68回有馬記念(GI)

2023

winner ドウデュース

Do Deuce



人馬揃っての復活劇

イクイノックスは引退を発表し、牝馬三冠馬のリバティア일랜드も休養入り。ジャパンカップ1、2着馬が不在の中、有馬記念の1番人気は天皇賞(春)を制し、前走の天皇賞(秋)はイクイノックスの2着だったジャスティンパレスとなった。

レースはこれがラストランとなるタイトルホルダーが後続を離して逃げる展開に。2番手にジャパンカップ3着のスターズオンアース。海外帰りの2頭、ブリーダーズカップターフ3着のシャフリヤールと凱旋門賞4着のスルーセブンシーズはその後方で、皐月賞馬ソールオリエンズ、日本ダービー馬タスティエーラの3歳勢は中団を進んだ。

2周目の3コーナー過ぎ、それまで後方にいたドウデュースが大外を回ってロングスパートを開始した。あつという間に前へ迫ると、直線では粘るタイトルホルダーを捉え、食い下がるスターズオンアースも振り切って半馬身差でゴール。イクイノックスを下して栄冠に輝いた日本ダービー以来のGI勝ちを果たした。

2023年のドウデュースは初戦の京都記念こそ快勝したが、ドバイターフは左前肢跛行のため出走取消。その後も天皇賞(秋)7着、

ジャパンカップ4着と連敗中だった。また鞍上の武豊騎手も、右太ももの負傷から有馬記念の1週前に復帰したばかりで、まさに人馬揃っての鮮やかな復活劇。勝利騎手インタビューの「ドウデュースも私も帰ってきました!」の叫びには、大きな拍手が送られた。

その武豊騎手は歴代最多タイの有馬記念4勝目、54歳9カ月10日は同競走の最年長勝利記録となった。またこの日はちょうどクリスマスイブ。「イブの有馬記念」は2006年ディープインパクト、2017年キタサンブラックに続く3連覇となった武豊騎手は、最後に「メリークリスマス」と締めくくって大観衆を沸かせた。

第68回有馬記念(GI)

12月24日 中山競馬場 2500m(芝・右) 晴・良 16頭

前順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	ドウデュース	牡4	58	武 豊	友道 康夫	2:30.9	②	⑬⑬⑧③
2	スターズオンアース	牝4	56	C.ルメール	高柳 瑞樹	1/2	⑦	②②②②
3	タイトルホルダー	牡5	58	横山 和生	栗田 徹	1	⑥	①①①①
4	ジャスティンパレス	牡4	58	横山 武史	杉山 晴紀	アタマ	①	⑬⑬⑬⑨
5	シャフリヤール	牡5	58	松山 弘平	藤原 英昭	クビ	⑧	④④⑤⑥
6	タスティエーラ	牡3	56	R.ムーア	堀 宣行	1 1/2	⑤	⑨⑨⑧⑨
7	ウインマリリン	牝6	56	L.モリス	手塚 貴久	3/4	⑭	⑥⑥⑤⑥
8	ソールオリエンズ	牡3	56	川田 将雅	手塚 貴久	アタマ	④	⑩⑩⑫⑫
9	ハーバー	牝3	54	岩田 望来	友道 康夫	クビ	⑪	⑤⑤②③
10	ホウオウエミーズ	牝6	56	田辺 裕信	池上 昌和	クビ	⑯	⑭⑬⑬⑬
11	アイアンパローズ	牡6	58	石橋 脩	上村 洋行	1/2	⑬	⑥⑥⑪⑫
12	スルーセブンシーズ	牝5	56	池添 謙一	尾関 知人	クビ	③	⑥⑥⑤⑥
13	ライラック	牝4	56	戸崎 圭太	相沢 郁	クビ	⑩	⑭⑬⑬⑫
14	プラダリア	牡4	58	B.ムルザバエフ	池添 学	1/2	⑫	③③②③
15	ディープボンド	牡6	58	T.マーカンド	大久保龍志	3	⑨	⑩⑩⑫⑫
16	ヒートオンビート	牡6	58	坂井 瑠星	友道 康夫	ハナ	⑮	⑩⑩⑧⑨

単勝 ⑤520円 複勝 ⑤230円 ⑯240円 ④330円 枠連(3-8)980円
馬連 ⑤-⑯2,730円 馬単 ⑤-⑯4,380円 ワイド ⑤-⑯930円 ④-⑤1,210円 ④-⑯1,720円
3連複 ④-⑤-⑯8,050円 3連単 ⑤-⑯4,42,110円

ハロンタイム 7.0-11.3-11.9-12.0-12.0-12.2-12.5-11.9-12.2-12.0-12.0-11.7-12.2
通過タイム 100m⑦7.0-300m⑧18.3-500m⑩30.2-700m⑫42.2-900m⑭54.2-1100m⑯1:06.4-
1300m⑰1:18.9-1500m⑱1:30.8-1700m⑲1:43.0-1900m⑳1:55.0-
2100m㉑2:07.0-2300m㉒2:18.7



優勝馬:ドウデュース

2019.5.7生 牡 鹿毛
父:ハーツクライ
母:ダストアンドダイヤモンド
母の父:Vindication
生産:安平・ノーザンファーム
馬主:株式会社 キーファーズ

Memorial Hero
Orfevre
オルフェーヴル



未来へ、走り続ける。

70th
ANNIVERSARY